

令和6年5月28日（火）開催

第1回大野市子ども・子育て会議概要

令和5年度の子ども子育て関連事業の実績、子ども子育て支援に関するニーズ調査結果、そして仮称大野市子ども若者計画の策定について議論した。

事務局から令和5年度の子育て応援パッケージの実績を報告し、妊娠期、乳児期、幼児期、学童期、若者保護者支援など、各ライフステージに応じた支援策の実施状況と予算執行率を説明した。特に、子育てライフサポート事業や保育料の完全無料化、医療費助成などの取り組みを強調して報告した。

ニーズ調査結果については、就学前児童の保護者500人を対象に実施され、411件の回答（回答率82.2%）が得られたことを報告。調査項目には、家庭環境、就労状況、教育保育事業の利用状況などが含まれており、併せて（仮称）大野市こども・若者計画の策定については今後のスケジュールと計画の体系案を提示し、こども・若者支援、結婚支援、妊娠・出産期の支援など、ライフステージ別の支援策を包括的に盛り込む方針を示した。

会議では、人口減少対策の重要性や、計画策定プロセスにおける市民意見の反映方法についても議論され、会議の運営方法や資料の提供方法についても意見交換が行われた。

令和5年度子ども子育て関連事業の実績報告

事務局から令和5年度の子育て応援パッケージの実績を報告。妊娠期の支援では、不妊治療費助成や多胎妊産婦支援などが実施されたが、一部事業で執行率が低くなっている。乳児期の支援では、産婦健診や母乳ケアなどが実施され、概ね計画通りに進捗した。幼児期の支援では、子育てライフサポート事業が拡充され、特にリフレッシュサービスの利用が増加した。学童期の支援では、長期休業中の子どもの居場所づくりを新たに開始した。若者・保護者支援では、結婚祝い金の支給や移住定住支援を実施した。

子ども子育て支援に関するニーズ調査結果の報告

事務局から2月に実施されたニーズ調査の結果が報告されました。就学前児童の保護者500人を対象に実施され、411件の回答（回答率82.2%）が得られました。調査項目には、家庭環境、就労状況、教育保育事業の利用状況などが含まれていました。現時点では就学前児童の結果のみが集計完了しており、就学児童の結果と自由意見の分析はまだ進行中であることが説明されました。

（仮称）大野市子ども若者計画の策定について

事務局から（仮称）大野市こども・若者計画の策定スケジュールと計画の体系案を提示した。7月までに現状把握を行い、8月から実際の策定作業に入る予定。計画にはこども・若者支援、結婚支援、妊娠・出産期の支援など、ライフステージ別の支援策を包括的に盛り込

む方針を示した。また、計画策定プロセスにおいて市民やこどもの意見を聴取する機会を設けることを説明した。

人口減少対策と計画策定の重要性

会長から人口減少対策の重要性が指摘され、特に20代30代の女性の減少が消滅可能性都市の要因となっていることが言及された。事務局からは、人口減少は長期的な課題であり、数十年先を見据えたまちづくりが必要であることが説明された。また、高速道路整備や新幹線開業など、インフラ整備による対策も進めていることを報告した。

会議の運営方法と資料提供に関する議論

会長から今後の会議開催時間や資料の提供方法について質問があり、事務局は7時から9時の時間帯で会議を設定し、できるだけ内容を充実させる方針を示した。また、計画の概要版を作成し、全体の流れが分かりやすくなるよう工夫することを提案した。委員からは、次回以降の会議では全員が発言できるような運営方法を検討してほしいという要望が出された。